令和元年度全国新酒鑑評会 史上初の４蔵元入賞

全国新酒鑑評会は、(独)酒類総合研究所と日本酒造組合中央会の共催により開催されます。

その年に製造された清酒を全国的に調査研究することで、製造技術と酒質の現状および動向を明らかにし、清酒の品質や製造技術の向上に加え、国民の清酒に対する認識を高めることを目的としています。

現在、全国規模で開催される唯一の鑑評会であることから、清酒の品質や製造技術の向上に果たす役割は、極めて大きいものがあるとされます。

令和元年度全国新酒鑑評会は、４月22日（水）から24日（金）までの３日間開催され、全国から８５０点の出品がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響から、金賞を決めず、予審を通じて入賞のみを選定する形となりました。明治44年に第１回鑑評会が開催されて以来、今回が１０８回目の開催となりますが、予審のみの実施は初めてのことです。

５月22日（金）に審査結果が公表され、南会津町４蔵元からの出品酒も全て入賞となりました。８月に創業１００周年を迎える花泉酒造(名)も、初めての出品ながら見事入賞を果たしています。

■入賞酒

会津酒造「大吟醸　田島」

開当男山酒造「大吟醸　開当男山」

国権酒造「特撰大吟醸　國権」

花泉酒造「創業百周年記念醸造酒　純米大吟醸」

県内では、過去10年で最多となる33銘柄が入賞し、改めて県内各酒蔵の高い技術力を証明しました。

身近なところに、素晴らしい酒蔵がある。ひたむきに、誇りを持って酒造りに取り組む方々がいます。思いのこもった酒を味わえることに、幸せを感じます。

４蔵の代表銘柄をご紹介

会津酒造株式会社

■大吟醸　田島

フルーティーな吟醸香
まろやかですっきりな味わい

■純米大吟醸　会津

米の甘みと爽やかな香り
口当たりが柔らかい

開当男山酒造　渡部謙一醸造元

■大吟醸　開当男山

ほのかで上品な香り
柔らかでさらりとした喉ごし

■開当男山　純米酒

米から醸し出されたふくらみ
まろやかな味わい

会津酒造㈱ 代表取締役 渡部 景大 さん

福島県春季鑑評会では、会津酒造として２つの初めてがありました。３部門全てで金賞を受賞するとともに、「大吟醸田島」が県知事賞を受賞したことです。

また、全国新酒鑑評会では、金賞までの審査は行われませんでしたが、入賞することができました。会津酒造を支えてくださる全ての方々、そして蔵人全員の力があってこその結果であり、感謝しかありません。

新型コロナウイルス感染症の影響で、世界中が大変な状況となり、まだ先が見えない状況です。会津酒造として今できることを考え、精いっぱい取り組んでいきます。未来の酒造りのために、酒質向上のために、過去の酒造りの行程やデータを見直し、進化していきたい。いつか支えてくださる皆さまに、恩返しができたらと思います。

開当男山酒造 醸造元 渡部 謙一 さん

全国新酒鑑評会は、各酒蔵の製造技術を向上させるため行われています。今年度は、入賞酒のみの審査でしたが、南会津町の４蔵とも入賞できたことは、私たち造り手の励みとなったことはもちろん、南会津町の４蔵が高い酒造技術を持つことを認識していただく良い機会になったと考えています。これからもお互いに切磋琢磨しながら、酒造りに精進していきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で、日本酒の需要が激減しています。今後、どのように日本酒市場が変化していくのかを見極めることが重要になります。

これまで積み重ねてきた製造技術を生かし、「とにかくうまい！」と評価していただけるよう、新しい時代に向けた酒造りに邁進してまいります。

令和２年福島県春季鑑評会でも 素晴らしい成績を残す

もう一つ、明るい話題をお知らせします。毎年春季と秋季の２回、福島県酒造組合の主催による鑑評会が開催されています。

審査にあたっては、「吟醸酒の部」「純米酒の部」「夢の香の部」と、３つの部門が設けられています。

夢の香とは、福島県オリジナルブランドの酒米（酒造好適米）。酒造りに適した品種を開発するために、福島県農業試験場が10年の歳月をかけて生み出したブランドです。

心白（米の中心部の白濁している部分）を多く有する大粒米で、吸水性がよく、醪（もろみ）（発酵してドロドロの状態）の中で溶けやすい軟質性が特徴です。

令和２年福島県春季鑑評会は、３月16日（月）に会津若松市内で開催され、「吟醸酒の部」に66点、「純米酒の部」に96点、「夢の香の部」に20点、それぞれ出品がありました。

南会津町からは３蔵元が出品し、各部門で素晴らしい成績を残されました。各部門の成績は、以下のとおりです。

■吟醸酒の部

県知事賞
会津酒造「大吟醸　田島」

金　賞
開当男山酒造「大吟醸　開当男山」
国権酒造「特撰大吟醸　國権」

■純米酒の部

県知事賞
国権酒造「純米大吟醸　國権」

金　賞
会津酒造「純米大吟醸　会津」

■夢の香の部

金　賞
会津酒造「山の井」
国権酒造「夢の香」

夏本番、「冷酒」がおいしい季節です。家族や同僚、友人と身近にある美味しい日本酒を楽しんでみてはいかがですか。ただし…飲みすぎには注意しましょうね。

４蔵の代表銘柄をご紹介

国権酒造株式会社

■特撰大吟醸　國権

みずみずしく華やかな香り
柔らかできめ細かい口当たり

■純米大吟醸　國権

ほんのり甘みを伴う柔らかさ
キリリとした上品な後味

花泉酒造合名会社

■創業百周年記念醸造酒　純米大吟醸

果実のような華やかな香り
もち米のやさしさが広がる

■花泉　吟醸酒

濃厚な旨みと心地よい香り
コクとほどよい酸味

国権酒造㈱ 代表取締役 細井 信浩 さん

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、全国新酒鑑評会の決審が中止になり、残念ながら13年連続金賞を受賞することが叶いませんでした。しかし、南会津町４蔵元全て入賞という、県内他地域にはない結果を残すことができました。また、県の春季鑑評会でも純米酒の部で、県知事賞を受賞いたしました。ひとえに皆さまのご贔屓の賜物と感謝申し上げます。

３年前から全量酒造好適米による酒造りに励み、そのうち南会津産米の比率が６割を超えるようになりました。昨年度から新たに「福の香」という品種が福島県で開発され、使用しています。この「福の香」が南会津でも生産されるようになれば、積極的に使用していきたいと思います。当地の米を増やし、少しでも地元に貢献できればと考えています。

花泉酒造㈴ 代表社員 星 誠 さん

初めての出品で初の入賞は素直に嬉しく感じています。南会津産米１００％使用、福島県酵母で入賞することができ、南会津の土地・地域の良さを証明することができました。この土地は最高の宝物です。酒造りは一人ではできず、多くの方々に支えられて初めてできます。皆さまへ心から御礼申し上げます。

一方で、これが成功だとは感じていません。「酒造りに成功は訪れない」をテーマに、現状で満足せず、勉強と研究に励みます。酒造りは、根気や熱意、体力と健康が必要です。常識にとらわれず、やってみなきゃ分からない。

今後も弊社は常に前を向き、考えや心の限界を持たず、常にチャレンジする所存です。南会津・会津・福島の良さを全国や世界に広めていけるよう進んでいきます。